

「茶の湯が育んだ名古屋の建築と庭園」



2013年6月9日(日)

現地見学会：揚輝荘、爲三郎記念館

シンポジウム：ウィルあいち

かつて名古屋地方は茶処と言われ、社交のみならず冠婚葬祭も茶の湯から始まるほど、茶の湯が日々の生活に深く浸透していました。有閑階級の家造り、庭造りは共に一人の茶匠にゆだねられ、結果として庭屋一如の住空間を創り出していたのです。戦災と近年の都市化により、多くは失われましたが、今もわずかに残る邸宅から名古屋の家造り、庭造りを知ると共に、双方の関係性を探ります。

■日時および場所：平成25年6月9日(日)

(午前の部) 現地見学会

09:30～10:15 集合場所 揚輝荘庭園 北園入口前

10:15～12:00 見学

揚輝荘庭園、古川美術館 分館 爲三郎記念館

(午後の部) シンポジウム

場 所：ウィルあいち2階特別会議室

13:30～14:00 シンポジウム受付

14:00～16:30 講演会・鼎談

■参加費： 学会員 2000円／非会員 4000円

※学生 会員500円／非会員1000円

■資料代：1000円

■主 催：日本庭園学会

■協 賛：中部庭園同好会

■シンポジウム、見学会に関する問い合わせ：

野村勘治（日本庭園学会全国大会運営担当、(有)野村庭園研究所）電話：052-931-8931

メール：nomurateien@forest.ocn.ne.jp

■プログラム詳細

【午前の部】現地見学会

- 09:30～10:15 現地見学会受付
集合場所：揚輝荘庭園 北園入口前
- 10:15～11:00 揚輝荘庭園
- 11:00～11:15 移動
- 11:15～12:00 古川美術館 分館 爲三郎記念館庭園

【午後の部】シンポジウム

場 所： ウィルあいち 2階特別会議室

- 13:30～14:00 シンポジウム受付
- 14:00～14:05 開会挨拶・趣旨説明
- 14:05～14:35 講演 1

「東海地方の煎茶席」

麓 和善（名古屋工業大学大学院教授）

- 14:35～15:05 講演 2

「『楽しむ茶の湯』が息づく名古屋の茶風」

長谷 義隆（中日新聞社編集局放送芸能部編集委員）

- 15:05～15:35 講演 3

「庭園からみた名古屋の茶の湯」

野村 勘治（(有)野村庭園研究所代表）

- 15:35～15:45 休憩

- 15:45～16:30 鼎談

座長・岡田 憲久（名古屋造形大学教授）＋講演者

- 16:30～16:40 閉会挨拶

■講演者・座長プロフィール

麓 和善（ふもと・かずよし、名古屋工業大学大学院教授）

1956年、香川県生まれ。名古屋工業大学大学院修士課程修了。名古屋工業大学大学院教授。工学博士。専門は、日本建築史・文化財保存修復。岐阜県および山梨県文化財保護審議会委員、そのほか全国の史跡整備・文化財建造物修復に委員として参画。

長谷 義隆（はせ・よしとか、中日新聞社編集局放送芸能部編集委員）

1956年、静岡県生まれ。早稲田大学経済学部卒業後、中日新聞社入社。編集局放送芸能部編集委員として、クラシック音楽、バレエ・ダンス、能・狂言、日本音楽など、洋の東西を問わず古典芸能を主に取材。名古屋市民芸術祭の審査員やダンスコンクール審査員も務める。傍ら茶道に傾倒。地元の茶道の歴史や埋もれた事績を掘り起こし、存滅不明だった名物茶器「秋野」「妹背山」、尾張藩主からの拝領の折り畳み茶室の所在判明などを特報。消滅寸前だった尾張徳川家の御家流茶道「尾州有楽流」の復興にも携わる。

野村 勘治（のむら・かんじ、(有)野村庭園研究所 所長）

造園家。1950年、愛知県生まれ。東京農業大学短期大学卒。重森三玲に師事。(株)第1アールセンター、(株)石捨を経て、平成17年野村庭園研究所設立。作庭の傍ら庭園実測調査、新旧・大小約100庭。近年古庭園修復等にも携わる。

岡田 憲久（おかだ・のりひさ、名古屋造形大学教授）

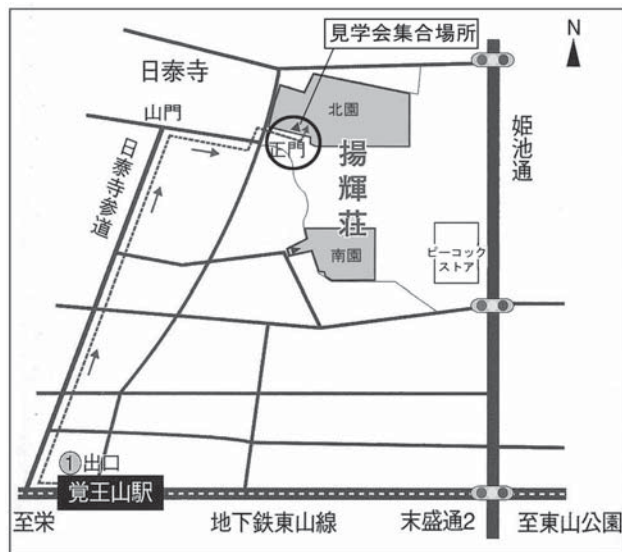
1950年、大阪生まれ。信州大学農学部林学科造園学研究室卒業。京都にて作庭修業、名古屋にてランドスケープ設計事務所勤務後、1989年景観設計室タブラ・ラサ設立。2009年著書「日本の庭ことはじめ」で日本庭園学会奨励賞、2011年愛知県芸術文化選奨文化賞、日本造園学会賞 設計作品部門「武田薬品研修所の全体景と石庭―九山八海の庭―」。近作に「東海市太田川駅（東側）駅前広場・50m歩道」。

■アクセス

揚輝荘（〒464-0057 名古屋市千種区法王町 2-5-21、

電話：052-759-4450）

●地下鉄 東山線 覚王山駅 1番出口より 徒歩約10分



ウィルあいち 愛知県女性総合センター

（〒461-0016 愛知県名古屋市東区上豎杉町 1番地

電話：052-962-2511）

●地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分

●名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分

●基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分

●市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

